

コロナ禍による米価下落対策について

東 北 部 会 提 出
説 明 担 当 福 島 市

我が国では、人口減少や食の多様化等を背景に、主食用米の需要が減少傾向にあり、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外食産業における需要が更に減退したことにより、民間在庫量が大幅に膨らみ、主食用米価は下落に転じています。

このような米価の下落は、農業を基幹産業と位置付ける東北地域において、地域経済への影響はもとより、多くの農家で営農意欲の低下とともに、離農が進むなど、地域農業や農村集落の維持にも深刻な影響が及ぶことが懸念されます。

東北地域の中でも、特に福島県産米は、原発事故後の風評被害の影響があり、主食用米でもより安価な業務用としての使用割合が全国的に最も高く、今後においてもコロナ禍が長引くことにより、一層の業務用米の需要減少が見込まれるなど、前年を下回る米価下落が危惧されるところであります。

については、福島県の特殊事情などに鑑み、東北地域の生産者が意欲と誇りを持って安心して営農を継続できるよう、コロナ禍による業務用米の需要減少分（過剰在庫分）については国が買い取り市場から隔離するなど、農家を支えるための米価下落対策を講じるよう、要望いたします。